

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業 / 保育士)
授業科目名：保育実習指導Ⅱ 英語表記：Guidance for PracticeⅡ (Childcare) ナンバリング：2706		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：加藤房江、 浅野瞳 担当形態：クラス分け
科目/系列	／保育実習		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	／保育実習指導Ⅱまたは保育実習指導Ⅲ		
【授業の到達目標及びテーマ】			
1. 保育について総合的に学び、講義で学んだ内容や「保育実習Ⅰ（保育所）」の経験や既習の教科を踏まえ、保育の実践的な力や保育士の専門性、職業倫理について理解できる。			
2. 保育の観察、記録、自己評価を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解できる。			
3. 事後指導や自己評価・伝え合いを通して、保育に対する課題を明確にすることができる			
【授業の概要】			
本授業は保育について理解を深め、保育の実践的な力や保育士の専門性、職業倫理について遵守すべき内容について自覚し、子どもへの深い愛情と使命感を持って、将来の保育者としての活動に役立つよう確かな知識・技能・保育技術の修得を深める。実習後は、自己の課題を明確化し、得られた知識や技術をまとめて発表することで、保育の現場で必要な力を身につける。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			○
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】		【授業時間外の学習】	
第1回：オリエンテーション、実習の自己評価、 課題について（実習振り返りレポート・手作りシアター）		（各1～2時間程度） ・お礼状の作成を行う。	
第2回：実習評価の確認、実習振り返り課題作成1		・自己評価や課題の明確化を認識し、発表準備を行う。	
第3回：実習評価の確認、実習振り返り課題作成2		・子どもの前で演じるものの制作を通して、教材研究を行う。	
第4回：実習評価の確認、実習振り返り課題作成3		・就職先を意識した「月のおたより」の作成を行う。	
第5回：実習評価の確認、実習振り返り課題作成4		・就職先を意識した月案作成を行う。	
第6回：子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解、 伝え合いに向けたP Pの作成と園だよりについて		・保育者としての実践力を高めるための知識や技術を深める。	
第7回：伝え合いに向けたP Pの作成と園だより作成1		・自己評価や課題をまとめ成果と技術の獲得を発表する。	
第8回：伝え合いに向けたP Pの作成と園だより作成2			
第9回：子どもの状態に応じた適切な関わり、 伝え合いに向けたP Pの作成3			
第10回：保育の知識・技術を活かした保育実践と			

<p>伝え合いについて</p> <p>第1 1回：1年生に向けて実習伝え合いの実施</p> <p>第1 2回：実習の総括と自己評価における自己課題の明確化</p> <p>第1 3回：保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善</p> <p>第1 4回：保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践、 指導要録の記載方法と作成</p> <p>第1 5回：保育士の専門性と職業倫理と 子どもの保育と保護者支援保護者支援</p> <p>定期試験：なし</p>	
<p>【授業の方法】</p> <p>演習。各自の主体的な授業参加が求められる。ディスカッション等を取り入れ、学びを深化させる。提出物にチェックをし、返却してフィードバックする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『実習の手引き』 埼玉純真短期大学</p>	
<p>【参考書・参考資料等】</p> <p>実習日誌、適宜プリントを配布</p> <p>『保育所保育指針』（最新版）『幼稚園教育要領』（最新版）</p> <p>『幼保連携型認定こども園・教育保育要領』（最新版）</p> <p>『マンガでわかる保育所保育指針』 浅井拓久也 著 中央法規。</p>	
<p>【学生に対する評価】</p> <p>ルーブリック評価・授業参画度(50%)、制作物・レポートや課題の内容(50%)。</p>	
<p>【履修上の注意】</p> <p><u>保育実習Ⅱ（保育所）も必ず履修すること。課題の提出等は、必ず期限を守ること。</u></p> <p>本科目は、保育所実習のための授業であり、原則欠席をしないこと。やむをえず欠席する場合は、必ず欠席届を提出する。後日欠席した授業のレポートも提出すること。保育所実習Ⅰを通して学んだことを常に念頭におき、積極的態で学習に臨むこと。</p>	
<p>実務経験の有無：有</p>	<p>実務経験： 加藤：元幼稚園教諭、元保育士、元主任保育士 浅野：元施設指導員、社会福祉士</p>
<p>【実務経験を生かした教育内容】</p> <p>保育者としての経験を活かし、実習で学んだことを基に保育者として必要な学びができるような授業を行う。</p>	